

# THE リアルタイム

Vol. 46

サポートセンター連からお届けする生活支援情報誌



## 特集：イベント 2022 連・ふれあいまつり

### INDEX

- P1 表紙／ごあいさつ
- P2～P3 今号の特集
- P4 日中活動支援事業  
イベント報告/イチオン
- P5 生活支援事業余暇報告  
相談支援事業からの案内
- P6 グループホーム生活紹介  
職員リレーエッセイ
- P7 一粒万倍
- P8 地域交流  
情報／編集後記

センター長 白鳥基裕

地域の皆様に育てられてきた15年間の積み重ねは、連のかけがえのない宝です。

連・ふれあいまつりは、それを象徴するイベントです。恒例のステイールパンの躍動感溢れるBGMが流れた瞬間、「連のおまつりが戻ってきたって感じですね!」と、来場者の方から言っていたきました。

ただ、誠に感謝申し上げます。開所当時、連が地域の一員として育つためには、建物がただ存在しているだけではなく、そこで活動する障害のある人たちが職員の姿をいかに「見える化」するかが、事業運営の重要なテーマだと考えました。

9月9日・10日の2日間、第15回目を迎える「連・ふれあいまつり」を無事に開催できました。ご来場の皆様、作品出店やアトラクションの皆様、機材貸出や会場設営をお手伝いいただいた自治会の皆様、そして賑やかなおまつりを見守ってくれた近隣の皆様……コロナ禍での開催にご理解をいただき、誠に感謝申し上げます。

連・ふれあいまつりのご挨拶

# 2022 連 心は密に! GO to ART! ふれあいまつり

9月9日(金)~10日(土)開催しました!

## アトラクション



3年ぶりに開催されたふれあいまつり。規模は縮小したものの、毎年おまつりで大人気なマイケル“マニッシュ”ロビンソンさんの「スティールパン演奏」、フェリス女学院大学の「ベリーダンス」のアトラクションステージも復活しました! 午前の部はスティールパン演奏。音楽が響き渡ると「さあ!おまつりだー!」と、来場して下さったお客様も職員も演奏者と一緒に盛り上がりました。午後の部はベリーダンス。煌びやかな衣装をまとった学生さんの素敵な踊りを見にたくさんの方がステージ前に集まりました。

3年ぶりの開催でしたが、出演をお願いしたところ、「楽しみに待っていました!」と快諾して下さいました。

連のおまつりを楽しみにして下さっていた地域の皆さんや出演者の皆さんとの繋がりを改めて感じ、これからも感謝を伝えられるお祭りにしたいと思います。(工藤)

連 GALLERY~心は密に GO to ART~。サブタイトルにあるように「ふれあいまつり」の中で連 GALLERY を開きました。連 GALLERY の開催は 6 回目ですが、今回は地域の方の作品と連の利用者や登録者の作品に限らせて頂きました。作品数は 104 点、参加して下さったアーティストは 43 名と 3 団体。さまざまな自慢の作品が並び、華やかで活気あふれる作品展となりました。

毎回感じるのは、連の近くには手作り作品やアートを楽しまれている方が数多くいらっしゃる事です。近年は GALLERY への出展を励みに作品を制作して下さっている登録利用者がいます。今回は近隣にお住いの小学生が夏休みに制作したであろう可愛い作品の出展もありました。

地域の方が多く来場し、「すごいね~!」とおっしゃりながらひとつ1つを丁寧にご覧くださる姿がとても印象的でした。

(禾木)

## 作品展示



## ワークショップ

今年のお祭りでは、缶バッジとステンシル、クイリングの3つのワークショップを行いました。どれくらいの方が来てくださるのか、担当スタッフも当日までドキドキでしたが、予想以上のお子さんたちが来てくださり、一緒に行った利用者も大忙しで、どのワークショップも大盛況でした。(川浪)



## お菓子釣り



## 販売



お菓子釣りのブースには、たくさんの方が足を運んでくださいました。1回だけでなく何度もリピートするお子さんたちが多かったようです。数年ぶりのお祭りで気合が入り、お菓子を準備しすぎてしまったのでは……という不安が杞憂に終わるくらいの盛況っぷりでした。連の一時ケアなどを利用してくださった方と久しぶりにお会いする機会もあり、改めてこれまでの繋がりを感ぜられる場でもありました。

販売ブースでは、これまでの自主製品のラインナップに加えて、今回のお祭りに向けて制作した製品も販売しました。こちらも多くの方が手にとってくださり、たくさん購入してくださいました。感染対策のため、当日販売にあたった連の利用者さんは1名だけでしたが、当日参加できなかった利用者さんも、自分たちの製品が地域の方の多くの手に渡ったことをとても喜んでいきます。(川浪)

机12台、テント1基、作品を展示するための資材、準備期間を含めて7日間、南まきが原自治会からお借りしました。

物品を取りに伺った日は、自治会館に会長さんや文化部長さん、お手伝いの方がお二人、机をきれいに拭きながら待っていただきました。

感謝の気持ちでいっぱいです。ご協力ありがとうございました。(禾木)

## 自治会



「南まきが原自治会」と書かれたテントは地域とのつながりを感じ、頼もしい限りでした。

## 法務局駐車場

ふれあいまつりでは、法務局の駐車場を一日お借りするのも毎回恒例です。今回は10日(土)に使わせていただくをお願いし、快く受けてくださいました。お願いに上がるときもお礼に伺ったときも利用者さんと職員で伺いましたが、窓口の方が優しく対応してくださいました。ありがとうございました。(禾木)

## 実行委員会の想い

新型コロナウイルスの影響によりまだまだ地域のイベントなどは自粛モードにならざるをえない中、自分たちに何ができるかを考えました。地域に少しでも元気や希望を届けたい、お子さんなど地域の方が足を運び楽しんでもらいたい……というスタッフ一同の想いで、3年ぶりにこの形で実現したお祭りでした。

準備から当日の様子を振り返ると、地域の方々の力やつながりがあってこそ開催できたと改めて実感します。

今後も地域の方々と手を携えて連の活動を積み重ねていきたいと思えます。(川浪)

## 夏フェス開催!!

コロナ禍で外出等の余暇活動が思うように実施できないご時世ですが、「できない中でできることを」がモットーの連は、何か楽しいことをやりたい! ということで……。

今年度の連の日中活動は【フェス推し!】でいきたいと思います!!

6月に開催した、「連 FOOD FESTIVAL 2022」は、キッチンカー Jigemon さんをお呼びして、イチオシ<sup>はやし</sup>早矢仕ライスを中心にボリューム満点のおいしい洋食メニューをみんなで堪能しました。おいしそうに口いっぱい頬張るみなさんの笑顔が印象的でした。

好きなメニューを選び、お金を払って受け

取るという一連の流れも新鮮に感じた人が多かったようです。当日は午後も存分に楽しみ、こんがりカフェでアイスクリームを食べたり、カラオケやゲームをしたりして盛り上がりました。

8月は「Petit Summer Fes!」を開催しました。日中活動の夏季休暇前の午後のひとときを、かき氷・盆踊り・ゲームで盛り上がりました。浴衣を着て写真撮影をするフォトスポットも大好評! 浴衣を着ることが初めてだった女性陣は、「まだ脱ぎたくない!」と、各工房、各スタッフのところをまわってお披露目し、うれしそうに撮影していました。(成田)



### 今月のイチオシ!

新商品やおすすめの自主製品を紹介

#### ワックスポップリ&缶バッジ



5個入り 100円

フルーツシリーズのワックスポップリを新発売。シリーズ第1弾は「ぶどう」。さわやかなマスカット仕様と秋らしい紫の色合いが好評です。(生山)

コロナ禍の疫病退散を象徴する缶バッジということで、「あまえびを食べるあまびえ」(全4色)を発売中です。ユーモラスな姿に思わず笑ってしまいます。(川浪)



小 100円 (32mm)  
大 200円 (56mm)  
個包装プラス 50円

## 余暇プログラム開催報告

8月に学齢期と成人期の余暇活動を実施しました。参加者は少なかったけれど、皆さんの「やってみよう」という気持ちを実現する、有意義な時間になりました。

### 8月10日(水)万華鏡づくり

中学生、高校生の2名が参加されました。作りながら何度も万華鏡をのぞいてみたり、筒に一つ一つシールの配置を決めて丁寧に仕上げたりと、それぞれのペースで一糸懸念に取り組み、それぞれのペースで一生懸命に取り組まれる姿が印象的でした。質問したりコミュニケーションをとったり笑い合いながら、賑やかな雰囲気の中での開催となりました。



夏らしいイラストや戦隊物などの絵を思い思いに描き上げ、お皿の完成です！

### 8月13日(土)お皿にデザイン

成人の方2名にご参加いただきました。見本からヒントを得て好きな絵をお皿に描き、日付と名前を最後に書いて仕上げていました。また、描きたい絵を決めてきた方もいて、裏面までカラフルに完成させていました。

できたお皿を手にとって微笑む姿から、満足いく作品ができたことが感じられました。

### 今後の余暇プログラムの予定 対象:成人

\*12月17日(土)10時-12時 クリスマスオーナメントづくり  
締め切り:12月2日(金)  
お申込み、受け付け中です！

\*学齢の方を対象とした余暇プログラムも冬休みに実施予定です。お楽しみに!!

## 旭区基幹相談支援センター&旭区役所プレゼンツ

### あさひ障害福祉公開講座 案内

障害児者に関わる支援者のみなさま、ご家族のかたに知識や技術を学んでいただけるよう、年間を通して研修会を開催しています。みなさまのご参加をお待ちしております。

(あさひ障害福祉公開講座は、旭区基幹相談支援センターと旭区役所の連携事業です)

講座のお問い合わせは、  
基幹相談支援センター 045-365-7000

### 令和4年度下半期に開催予定の公開講座

講座名	日時	講師	場所
ダウン症基礎研修	11月15日(水) 13:30~15:30	蕨 圭二氏 みどり地域活動ホームあおぞら所長	二俣川地域ケアプラザ オンライン開催
障害者支援における権利擁護 ~虐待防止と意思決定支援~	R5年1月24日(火) 17:00~19:00	鈴木 俊彦氏 和泉短期大学児童福祉学科教授	二俣川地域ケアプラザ オンライン開催
あさひ又村塾③ ~内容未定~	R5年2月20日(月) 16:00~18:00	又村あおい氏 手をつなぐ育成会	二俣川地域ケアプラザ オンライン開催
障害のある子の自立生活を考える ~「親あるうち」に「親なきあと」の備えを~	R5年3月15日(火) 13:30~15:30	相談支援機関のご紹介	二俣川地域ケアプラザ オンライン開催

※コロナウイルス感染症の状況によって、開催方法が変わる可能性があります。



## 皆さんの声に耳を傾け、生活をそれぞれの色合いに

グループホームは少人数で共同生活を送る生活の場です。今回はグループホーム生活の一場面の「食事」について紹介します。

普段は食材宅配サービスを利用して栄養などにも気を配って提供していますが、ある時「たまには自分の食べたいものを食べたい」という声が入居者さんから上がりました。それを受けて、どうしたら皆さんの希望を叶えられるだろうかと話し合い、自分の食べたいものをリクエストする「リクエストメニュー」の日を週1回設けることにしました。入居者さんからは、天ぷらや海鮮丼などいつもは出てこないような色々な声が上がります。リクエストメニューの日は、食卓にいつもと違うメニューと皆さんの笑顔が見られます。

グループホームは入居者さんの生活の場＝自分の家です。時には好きな物に囲まれる日を作れ

たら……と工夫しています。

食事以外でも季節を感じられるように花火をしたり、お盆にはお墓参りに行ったりしています。日々の中で入居者さんたちの声を聞き、それぞれの望む生活に近づけて行けるようにしていきたいと思います。  
(田中)



この日のリクエストは、「にんにくチャーハンに唐揚げ」これでスタミナもばっちり。



花火で、夏の思い出作り。

## 支援者の意気込みや思いを語るリレーエッセイ

## Good Job!

### 「これまで」を大切に「これから」を一緒に作っていく

昨年からグループホームの担当になりました。日中活動支援での20年の経験を活かし「入居者さんに寄り添いながら望む生活の実現を！」と張り切っていましたが、日中活動支援との違いは想像以上で、早々にその意気込みは打ち砕かれました。

他から見ると些末に感じてても、入居者にとっては大切な事なので皆さんの生活を考えるためには皆さんの「これまで」を知らなければいけません。そう思い直してご本人やご家族からお話を伺ったり、前任者から話を聞いたりしました。ご自宅ではどういった生活をされてきたのか。なぜグループホームで生活されているのか……という「これまで」のを知ることができました。そして、それを基に今後はどういった生活をしていきたいのかという入居者さんの「これか

ら」について少しずつ理解が深まってきたように思います。

まだまだうまくいかないことの方が多いですが、世話人、生活支援員、ヘルパーさんと協力しながら、より良いみなさんの「これから」を構築できるように尽力していきます。

次は日中支援の高橋さんにはバトンをお渡しいたします。



田中 一 (たなか・はじめ)

2000年、訪問の家に入職。集→朋→連と各地区の事業所を渡り、昨年からは旭地区グループホームのサービス管理責任者。4人の子供の父。バイクとラジオをこよなく愛する。

## 保育園の園児さんとの交流

連のすぐ隣は保育園です。天気の良い日には朝早くから園庭で元気に遊ぶ園児さんたちの姿が見られます。連の駐車場と壁もなく隣接しているため、送迎車が到着すると数人が柵に近寄って、車から降りた利用者さんに笑顔で手を振る様子も日常です。

以前は連の中にある「おもちゃ文庫(就学前のお子さんが遊べるスペース)」で定期的に園児さんが遊んだり、地域交流イベントで日中活動の利用者さんと一緒にシャボン玉や紙相撲などで楽しんだり、保育園の防災訓練で連の駐車場を利用して起震車を体験するなど頻繁に交流していました。

コロナ禍で交流の機会が失われてしまいましたが、そんな中でも連のパン屋さん「こんがり工房」のパンを園児さんの給食にしてくださいる注文など、とても嬉しいお話をいただいています。

今年の3月には、卒園式で園児さんにお渡しするパウンドケーキの注文をいただきました。何か「おめでとう！」を伝えられないかと考え、地域交流担当の職員のアイデアで園庭に面した連の2階バルコニーフェンスに「卒園おめでとうございます」の文字を掲げ、利用者さんと職員で「おめでとう！」の声掛けをさせていただきました。事前に保育園に確認したところ、とても喜ん



園児の皆さんに連なりの「おめでとう」の気持ちを込めて卒園祝いをさせていただきました。

でくださり、式が終わったタイミングで卒園する園児さんやご家族の皆さんが園庭に出てきて、声を合わせて利用者さんと職員にお礼の言葉を伝えてくださいました。

7月の七夕の時期には、毎年、近隣のお宅から保育園の方たちと一緒に笹の枝をいただいています。それに加えて今年は園児さんたちが連の笹用に飾り付けを作って連に持ってきてくださいました。その時、出迎えた車椅子の利用者さんが園児さんに自ら近づいていきました。「急に近づいたら園児さんが驚いてしまうのではないか」と思って利用者さんを制止しようとしたのですが、そんな心配は無用でした。近づいてくる利用者さんに逆に園児さんが近づき、ニコニコと笑顔で握手をしていたのです。さまざまな場面で交流を続けてこられたからこそその一場面だったと思います。

夏休み期間に小学生がジュニアボランティアとして活動体験したり、近隣の中学生在が職業体験として利用者さんと交流することもあります。小さなお子さんや学齢期の学生さんと障害のある利用者さんが交流を続けていくことが、障害のある方が地域で生活し活動しているのが「当たり前」の光景になっていくために必要だと改めて感じています。  
(小原敏裕)



七夕の飾り付けをプレゼントしてくれた園児の皆さんの心遣いに感激しました。

## 地域交流ミニイベント上期ダイジェスト

上期には、おもちゃ文庫のイベントをスタートに、3回の地域交流ミニイベントを開催しました。

5月は区役所と旭図書館、そして連が共同で、地域の親子さん向けの「絵本でふれあい講座」を開催。図書館の司書さんに絵本選びのポイントや読み聞かせのアドバイスをいただきました。

6月は駅前のみなまきラボで、地域の親子さんと連の利用者さんで団扇を作る工作イベントを開催しました。併設したさかな釣りコーナーも好評で、ママたちからは「こんなちょっとした工作のイベントをもっと開催してほしい！」……などのご意見もいただきました。

7月は連の中でいつも行っている「紙相撲」を地域の方たちと楽しもう！ということで、こちらもラボで開催しました。夏休み中ということもあり、南希望が丘地区のジュニアボランティアさんたちが連に来る日だったので参加していただきました。連が地域の方々とこのように交流していることを知ってもらう良い機会となりました。

下期も、さまざまな出会いのあるミニイベントを企画していきたいと思います。(禾木)



絵本でふれあい。お子さんは視線を向けてどんな物語に興味津々。



見合って見合って……はっけよいのこった！紙相撲での交流は大盛り上がりでした。

Facebookでは、イベント情報なども随時更新中！

<https://www.facebook.com/supportcenterren/>



### ● 地域交流イベント(事前予約制)

#### キャンドルのワークショップ

11月4日(金) 2部制

1 枠目 11時~12時30分

2 枠目 13時~14時30分

会場:みなまきラボ

### ● 善部小福祉まつり

11月13日(日) 自主製品出店

会場:横浜市立善部小学校

### ● 年末年始休業

12月28日(水)~1月3日(火)

※地域の方を対象としたイベント詳細は、連の掲示板でお知らせします。また、各種イベントは感染者拡大の状況に応じて中止となる場合があります。

## ボランティアさん大募集！

サポートセンター連では、日中活動を中心に、ボランティアさんを募集しています。

利用者さんといっしょに製品作りやお散歩、おしゃべりを楽しみませんか？

お気軽にお問い合わせください。

TEL 045-360-9778 担当: <sup>かつき</sup>禾木

## 編集後記

●暑い日が続くと思ったらいきなり寒くなってみたりして、最近の季節の変わり目は豪快だなあと感じます。ゲリラ豪雨も多いし地球温暖化現象の影響ですかね。(野村)

●今日も一日ありがとうございました!!明日もよろしく願いますね。と、退勤時に必ず声をかけてくれるスタッフがいます。日常のことをあたりまえにせず、感謝の気持ちを伝えないとと思う一コマです。(生山)

●おいしいものがたくさんある季節になりました。おいしいさんま食べるぞ!と思ったら、不漁……。でも、「食欲の秋」おいしいもの食べて気持ちも豊かになりましたよ♪(田中)

●朝夕が涼しくなり秋の訪れを感じます。読書の秋など、秋の代名詞はいろいろありますが、個人的に「スポーツの秋」と決めました。皆様の決意の秋が実りますように。(大野)

サポートセンター連 機関紙 「THE リアルタイム」第46号(令和4年10月28日発行)

発行者:サポートセンター連・広報担当 住所:横浜市旭区柏町59-2 TEL 045-360-9778 FAX 045-360-7004

社会福祉法人 訪問の家 ホームページ

<http://www.houmon-no-ie.or.jp>

旭区地域自立支援協議会 ホームページ

<http://asahiku-net.webnode.jp>

当法人への寄附金は、「寄附をいただいた方の「所得税(国税)の所得控除及び「横浜市の個人市民税」「神奈川県民税」の寄附金税額控除の対象になります。ただし、二千元を超えた額が対象です(寄附額二千元以上)。ご不明な点は、訪問の家本部事務局(電話〇四五-八九四-四六四〇)にお問い合わせ下さい。